

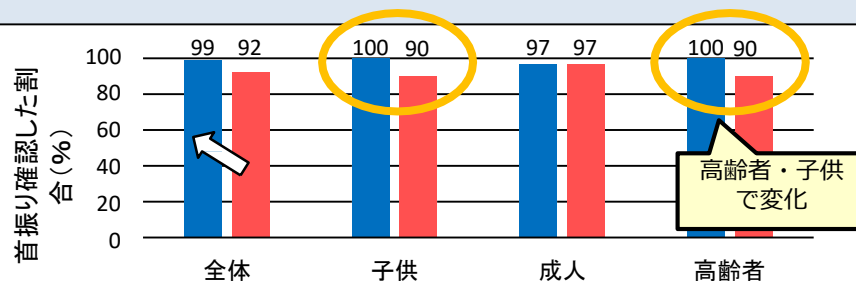
3.H30年度活動成果報告（1）テストコース検証結果

- ▼V2P端末情報提供により、特に子供・高齢者に行動変容に変化があることを確認。
- ▼一方で個人差もある（特に高齢者。聞かない人は聞かない）ことも確認。
- ▼全般的に安全側に行動が推移することが推察された。

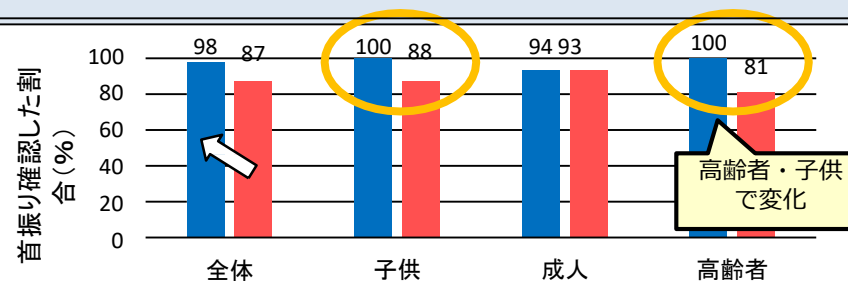
■歩行者側検証 検証結果

■通知あり ■通知なし

①歩行者の単路横断（50・30km/h）



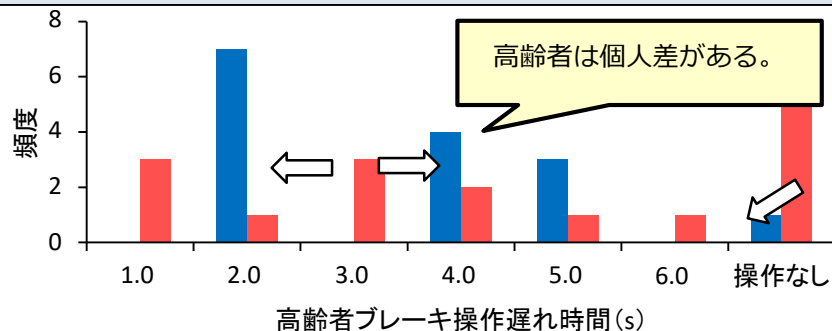
②見通し外交差点出会い頭（30km/h）



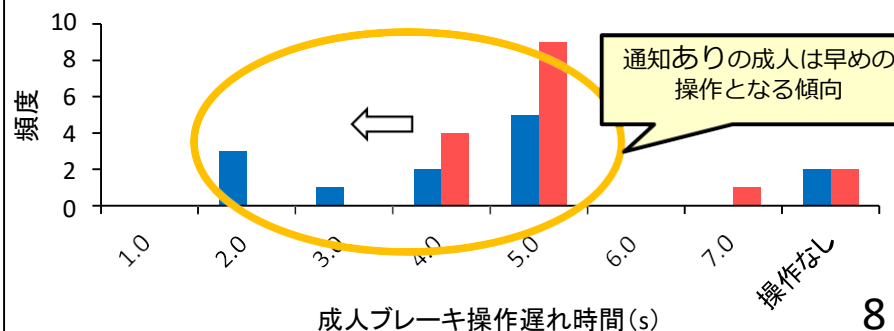
■車両（運転者）側検証 検証結果

■通知あり ■通知なし

①歩行者の単路横断（50・30km/h）



②見通し外交差点出会い頭（30km/h）



3.H30年度活動成果報告（2）実環境(お台場地区)検証速報

②実環境（お台場地区）検証【定性的】

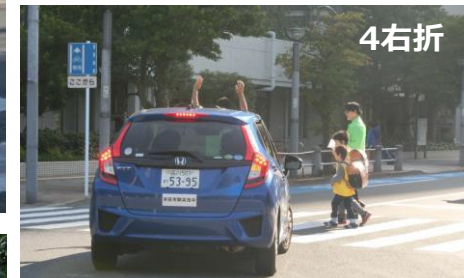
- ✓ 11月13-17日 車両検証（13-14日）、歩行者検証（15-17日）に実施。
- ✓ 検証シーンを体験頂き、都度対面アンケートを実施



検証ルート



- ①歩行者：高齢者・非高齢者・子供
（各45サンプル取得）
- ②車両：高齢者・非高齢者
（各24サンプル取得）



地図出典：Copyright(c) NTT空間情報 ALL Rights Reserved

※一部(歩道のない道路演出)で交通規制を実施

3.H30年度活動成果報告（2）実環境(お台場地区)検証速報

- 動画（高齢者）特徴的なシーンを示す。
- 動画（車両モニタ(高齢者)）特徴的なシーンを示す。
- 動画（子供）特徴的なシーンを示す。

撮影動画を放映します



高齢者_単路横断

3.H30年度活動成果報告（2）実環境(お台場地区)検証速報

②実環境（お台場地区）検証【定性的】（分析中のため、速報）

1) 歩車の行動変容の定性把握（データ分析中のため、一部報告）

①通知時の行動変容（分析中）

歩行速度/車両速度や、ビデオによる確認については分析中のため割愛）

②通知サービスに対する意識調査

✓サービスに対する受容性と課題について各世代のモニタ評価を得た

- ・5歩道のない道路では高評価
- ・3,4右左折は方向を示してほしいという意見多数
- ・2見通し外交差点は子供に高評価
- ・通知が遅い点が指摘

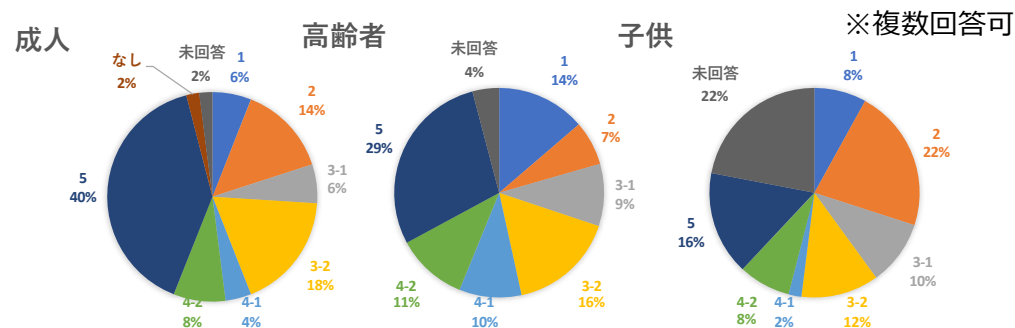


図 有効なシーン：5歩道のない道路での通知が高評価。世代差あり

（単路横断）

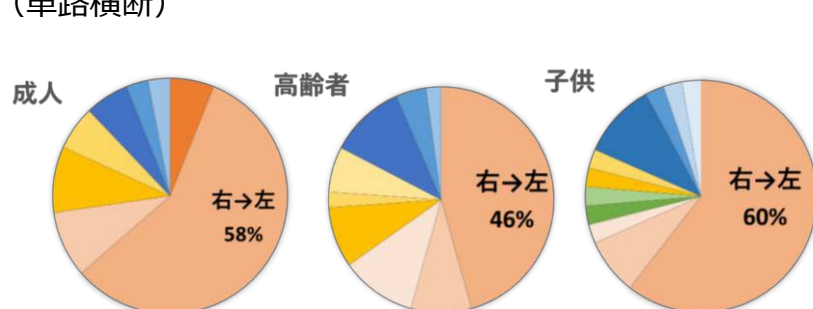


図 方向に対する行動：どの世代も近い車線から確認する傾向

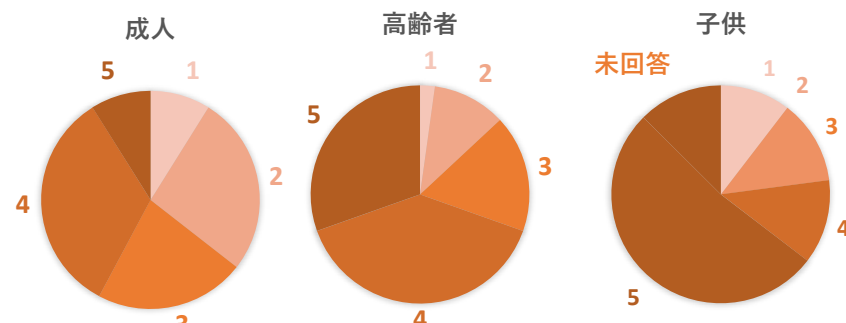


図 わかり易さ(5>1)：概ね受容。子供は難解の回答多